

長期ステロイド治療後に成人期治療を行った成人アトピーの経過 (20 代男性)

症例 ID：001-20-HJ | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

アトピー性皮膚炎に関する情報や治療方針に迷いながら、長くステロイド治療を受けていました。ステロイドでは治らないという感覚を持つ一方で、十分に納得できる説明を受けられないまま経過していました。

症状や治療への不信感が強く、ステロイドを使わない治療を探す中で松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	来院前にステロイド外用薬を使用していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	長期にわたる使用歴がありますが、具体的期間は不明です。
中止時期	松本医院受診後、ステロイドを使用しない方針となりました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
来院前	来院前	ステロイド治療を受けながらも症状が続き、治療への疑問がありました。
松本医院受診	治療開始	患者本人の疑問に対して説明を受け、治療を開始しました。
通院中	経過中	ステロイド使用後の症状に対する治療は順調に進んだとされています。
通院約 1 年	回復傾向	昼間に外へ出ることについて、強い劣等感を感じずに歩けるようになりました。
その後	経過後	症状はほとんど落ち着き、来院も少なくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、来院前にステロイド治療を続けても症状が十分に落ち着かず、治療への不信感と心理的負担が強かった時期です。

5. 困りごと

- 治療に関する情報が多く、何を選択すべきか迷いがありました。
- 医療機関で十分に納得できる説明を得られないことが心理的負担となっていました。
- 外出時に劣等感を覚えるほど、皮膚状態が生活面に影響していました。

6. 経過のまとめ

松本医院で治療を始めた後、通院約1年で昼間に外出しても強い劣等感を感じにくい状態になりました。

その後、症状はほとんど落ち着いた状態となり、継続的な来院は少なくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。